

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	遠位大腿骨骨切り術、高位脛骨骨切り術の術後臨床成績の検討 [倫理審査受付番号：第 5297 号]
研究責任者氏名	整形外科 中山 寛
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2026 年 3 月 28 日 ～ 2028 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 変形性膝関節症 / 診療科名等：整形外科
	受診日：西暦 2010 年 4 月 1 日～ 2026 年 1 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	兵庫医科大学病院整形外科で行っている変形性膝関節症に対する遠位大腿骨骨切り術、高位脛骨骨切り術は、小さい傷口で行うため、低侵襲です。世界的にも全国的にもこの方法で行っている施設は少ないため、この低侵襲で行われた方法による術後成績の報告は少ないのが現状です。本研究では通常診療で取得したカルテ情報を用いて、適切な術式であったかどうか、将来的に術式の変更を行う必要があるのかどうか、スポーツ復帰率を後ろ向きに検討します。
研究の方法	2010 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで兵庫医科大学病院整形外科で変形性膝関節症に対し、遠位大腿骨骨切り術、高位脛骨骨切り術を行った症例に対し、通常診療で取得したレントゲン、CT、MRI の画像を使用し、画像評価を行い、患者立脚型アンケートの点数を評価します。 膝周囲パラメータはレントゲンから計測します。 大腿骨遠位関節面角度 (mLDFA)、脛骨近位関節面角度 (mMPTA)、関節面開大角 (JLCA)、大腿骨脛骨機能軸角 (HKA 角)、膝蓋骨位置、CT から大腿骨内捻角度、脛骨外捻角度、MRI から半月板逸脱量を計測します。カルテから年齢、性別、スポーツ種目、スポーツ復帰率を調査します。これらの通常診療で取得した

	<p>情報は、2010年4月1日から2026年1月31日までの術後3年間の経過観察を含め、収集・使用させていただきます。収集した計測値から、基準値とされる値に手術で矯正できているか、患者立脚型アンケートの点数が術前、術後で有意に改善されているかを評価します。スポーツ種目、スポーツ復帰率をスポーツ復帰できた群とできなかった群比較や術後成績が不良であった因子の解析にt検定、χ^2乗検定、単変量、多変量解析を用いて解析します。</p>
個人情報の 取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する 連絡先	<p>診療科名等：兵庫医大 整形外科学教室 担当者氏名：中山 寛 [電話] (平日9時から17時) 0798-45-6452</p>